米工 MAKERS

米工通信　第179号
令和５年１月３１日
鳥取県立米子工業高等学校

今日は３年生の一部の科で課題研究発表会を開催し、１年間取り組んできたことを発表します。

課題に気づく！

課題研究は平成元(1989)年改訂の高等学校学習指導要領において、家庭・農業・工業・商業・水産の各教科に新設された科目です。類似の科目として普通科高校では平成15年の入学生から「総合的な学習の時間」が設定され、令和４年度からは「総合的な探究の時間」として取り組まれています。

このような科目が設定された背景には社会の変化があります。昔は一生の中で社会の変化はそれほど大きなものではありませんでした。しかし、様々な発明や発見により社会の変化の速度は年々速くなり、新しい生活に慣れた頃には次の新しい生活の波が押し寄せてくる状況が生まれました。

特に、ネット社会の発展により、社会生活に求められる基本的な知識と技術を身につければ、必要な知識はネット検索することで得られるようになりました。また、地域を越えてつながることができるようになり、コミュニケーションには多様な文化、習慣を受け入れる能力が必要になりました。さらに、だれもが情報を発信できるようになったことから、情報の真偽を見極める能力や伝える能力も必要となりました。

それゆえ、これからの社会を歩むためには、人とつながり協力できる能力と、必要な情報を収集・分析し、それを基に未知のことに対応できる情報活用能力を自ら養っていく必要があるのです。これまでは与えられた定型作業ができる能力を求められていましたが、これからは自ら行動し、想像と変化に対応できる能力が求められます。待っていたら与えられるという状況ではなくなりました。

このような変化を受けて今年度の入学生から評価のあり方も変わっています。「学びに向かう力、人間性等」をベースにして、基本となる「知識及び技能」を身につけ、それらを「思考力、判断力、表現力等」により活用できることを評価するようになりました。

課題研究で大切なことは、まず課題に自ら気づくことです。そして、その課題を解決しようとする思いは学びに向かう力になり、日頃の学習へとつながっていきます。さらに、取組の実践から、課題解決には日頃の様々な学びを関連付けることと人とつながることが必要であることに気づき、学んだことの活かし方を高めて、今後の未知なる課題に対応する能力を養います。

卒業後は、それぞれの職場や立場で世の中の課題を発見し、解決してくれることを期待しています。

校長　松川　明義

【行事予定】２月１日(水)：３年自由登校　２日(木)：40分授業×３限＋大掃除 午後校舎内立入禁止
３日(金)：特色入学者選抜　生徒登校禁止
４日(土)～６日(月)：生徒校舎内立入禁止（終日）
今週末の大会等：ソフトテニス県高校インドア大会（鳥取）　３級技能検定学科（旋盤）

米工 HP